

(別紙4(2))

事業所名 ふれあいの家 黄金

作成日: 平成 28年 11月 19 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあい	公園や市場での地域交流はしているが、近隣の小学校や中学校、保育園や幼稚園との関係を確立していくことを検討していく。	地域交流スペースを地域に開放し、地域交流の拠点として取り組んだり、小中学校の体験学習や、保育園児や幼稚園児と利用者との交流の取り組みを考えていく。	12ヶ月
2	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議のメンバーが充実しているので、報告会で終わるのではなく、地域の問題提起や勉強会等にも取り組み、頼りになるグループホームを目指していく。	行政や地域と協働で認知症カフェや徘徊模擬訓練等にも取り組み、地域の高齢者の介護相談の窓口を目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。